

# えりも町議会

# 議会だより

令和5年2月1日

No.44

P2 令和4年度12月定例会  
議長年頭の挨拶

P8 全員協議会

P3-5 一般質問4名 6件

P9 コラム「議員のなり手が  
いない」

P6-7 所管事務調査

P10 「乙の人に聞く」

えりも町商工会青年部部長  
植木紀喜さんにインタビュー

## 元旦に襟裳分屯基地から望む「襟裳岬」

卯年の始まり、令和5年元旦、初日の出を撮影すべく自衛隊基地山頂へ登らせてもらいました。

この日はあいにく、強風で雲も厚く、初日の出は見られませんでした。眼下には太平洋へ突き出す日高山脈の突端を望むことが出来ました。

撮影協力：航空自衛隊襟裳分屯基地



# えりも町議会第5回定例会

## 補正予算

◎令和4年度  
一般会計(歳出)

・エネルギー価格や物価の高騰により影響を受けている町内事業者と町民へ「総額1億4176万円」の追加支援を実施(P8参照)

農業者 560万円

林業者 20万円

漁業者 4364万円

商工業者等 1658万円

えりも町応援商品券事業補助金 4574万円  
(町民一人につき1万円)

社会福祉振興費

3000万円  
非課税世帯等に対する給付金(一世帯5万円、600世帯分)

・介護保険デイサービス業補助金 826万6千円

事業運営の資金が不足するため(P6参照)

・特別養護老人ホーム運営費補助金 2300万円

事業運営の資金が不足するため(P6参照)

## 条例改正

・職員の定年等に関する条例の一部改正

職員の定年年齢を段階的に引き上げ、令和13年度に65歳とするための規定整備

## 人事

・えりも町監査委員の選任

えりも町宇歌別 高松 亮裕(65歳)  
前委員の退任のため

## 【年頭の挨拶】

えりも町議会議長 石川 昭彦



新春を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。昨年は3年にも及ぶコロナ禍に加え、ロシアによるウクライナ侵攻が始まり、円安も相まって物価の上昇となり、えりも町内の経済活動や町民の生活にも大きな影響を与える結果となりました。

町内の基幹産業である漁業は、令和3年秋に発生した赤潮の被害が未だに大きく、漁業者の収入減少とともに水産業全体の落ち込みが心配されるところです。議会としても引き続きこの問題について全力を上げたいと考えております。

「歴史的にも類を見ない少子高齢化の中、えりも町のような小さな町がいかんして生き残ることができるのか」。この大きな課題を前に私たちは町の将来像を考えていかななくてはなりません。

幸いにも町には、近いうちに国立公園の一部となる襟裳岬や豊似湖が存在し、どこにも負けない極上の水産物などがあります。若者が将来に夢や希望を失わなような取り組みが必要だと思っております。

結びになりますが、町民皆様の更なるご活躍とご健康を心より祈念して年頭のご挨拶といたします。

# 一般質問

一般質問は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動の場です。町政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。

## バイオマスセンターの設置を

### 災害時のエネルギー対策や脱炭素対策を検討



中野 公浩議員

#### 問 中野 議員

平時における熱と電力の低炭素化と災害時における自立型エネルギーの確保を目的に「えりも町バイオマスセンター」を整備する考えはないか。

各指定避難所や診療所等へ熱と電力を安定供給でき、雇用など地域活性化にも貢献すると思う。

また、持続可能なまちづくりの一環として、流木やクリーンセンターに持ち込まれるゴミを活用するという考えは、

#### 答 産業振興課長

バイオマスセンターを整備することにより、カーボンフリーの実現や温暖化対策、地元産

未利用材の地産地消、雇用の創出など多くのメリットがある。

しかし、施設を整備する場合8億円以上の費用を要し、補助を使っても2億円以上の負担となるので慎重に検討する必要がある。

流木には塩分が含まれており大部分の流木はチップ化することが難しいと聞いている。

今後、町としては災害時のエネルギー対策や脱炭素対策などについて十分に協議、検討することが必要と考えている。



バイオマス発電設備は、これからの脱炭素社会実現に向けて有効な施設である

#### 問 大坂 議員

人口減少に伴い児童生徒も年々減少傾向にある。そのような中、中高で連携をしながら学力向上に向けた指導をしていると思うが、町民に対してこれまでの取り組みや実績の周



大坂 庄吉議員

## えりも高校の今後は

### 教育支援策を強力にPR

知不足が課題であると思う。

①「えりも高校の未来を考える会」が開催されたが、どのような課題が出されたか。

②一日体験入学が行われているが、進学希望状況はどうか。

③えりも高校教育支援策は何項目示されているか。また、新たな教育支援策の考えは。

#### 答 教育長

①「えりも高校の良さをもっと町外にPRすべき」「町民を増やすための移住や町外生徒の住居として旅館を活用しては」「一問口になれば今のような教育活動は保証できない」などの意見が出された。  
②本年度の中学3年生は44名おり、現段階でえりも高校への志願者は24名、他町からはゼロである。  
③教育支援策として、大学・看護・公務員な

どの模擬試験や簿記・英語検定など各種検定の半額補助、希望生徒への放課後講習、韓国海外研修、登下校時におけるスクールバスへの乗車、町外生徒への通学費半額補助、多くの科目を設定するための教員増員など、13項目に及ぶ教育支援を行っている。

また、新たな支援策として、スクールバスの通学路線の検討やオンライン学習講座の導入、えりも高校の魅力を伝える近隣町へのPRなどを検討している。



今年度は「端末クロムブック貸与」支援が追加



橋本 維心議員

# 合併処理浄化槽への 早期転換を

問

問 橋本 議員

令和2年に浄化槽法が改正され、今後は環境負荷の低い合併処理浄化槽への早急な転換が必要で、特に「単独処理浄化槽の転換」と「浄化槽の管理の向上」

答

# 補助の引き上げも検討

①町内の設置基数は、個人で単独処理浄化槽23基、合併処理浄化槽198基、公共施設では単独処理浄化槽6基、合併処理浄化槽14基となっている。  
②交付対象となる30人槽以上の既設合併処理浄化槽は、該当があれば活用したい。

答 町民生活課長

を同時に実現することが必要とされているが、次の点を伺う。  
①町内の単独処理浄化槽、合併処理浄化槽の数は。また、公共施設の現状は。  
②環境省は令和4年度に「浄化槽システムの脱炭素化推進事業」を実施した。  
今後も当事業が継続されるのであれば活用してはどうか。  
③現在、町は浄化槽設置に補助を行っているが、上限額を引き上げ、設置を促進できないか。

合併処理浄化槽の推奨と、設置補助金額の引き上げを



③現在、個人住宅又は店舗共有住宅で10人槽以下の合併処理浄化槽を設置する方に対し、5人槽45万円、6〜7人槽60万円、8〜10人槽95万円の上限を設け、補助金交付事業を行っている。  
令和5年度以降、国の補助基準額が上がる予定であり、市場価格や近隣市町村の状況も勘案し、上限額引き上げを検討したい。

問

# 送迎バスの置き去り事故防止は

問 橋本 議員

近年、全国的に送迎バスの車内置き去り事故が発生し、熱中症で死亡した事例もある。海外ではエンジンを止めるとアラームが鳴り、後部座席に行かないと止められない仕組みが導入されており、今後の普及が望まれるところである。

答

# 無事故だが、国の安全装置義務化を注視

①運転者が、運転業務終了後に車内確認をしているが、加えて保育所では「バス運行にあたってのマニュアル」に基づき、バス送迎時に必ず保育士1名以上が添乗している。  
さらに、当日のバス利用者名簿と実際の乗降者を都度確認し、行き・帰りとも同じ保育士が添乗することで乗降者に相違ないか、漏れがないか等、確認しやすい体制を整えている。  
児童が降車を終えた

答 町民生活課長

当町でも保育所等の送迎バスがあり、次の点を伺う。  
①送迎バスの運転者や事業者に対して、事故防止対策は行っているか。  
②今後、バスに安全装置（車内カメラ、置き去り防止安全フザー）の導入予定はあるか。

際は、添乗保育士がバス前方から後方に向かって座席を目標確認しており、これまでは置き去り事故は発生していない。  
②バス送迎における幼児等の所在確認や安全装置の装備義務化に関しては、4月から施行予定となっている。  
安全装置の装備は、施行から1年間の経過措置が設けられる予定で、今後、国からの詳細な通知を待ち、可能な限り早期に装備したいと考えている。



ふるさと納税で購入したスクールバス。今以上の事故防止対策を



高松亮裕議員

# カーボンニュートラルを まちづくりの柱に

問 高松 議員

問

## 様々な要素を勘案し 宣言に向け検討する

答

「温室効果ガスの排出をゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」

と国が宣言した。これに伴い、道内では179市町村のうち半数近い83市町村が「ゼロカーボンシティ宣言」を表明した。

当町では、太陽光や風力等の再生可能エネルギーが急速に普及してきている。

また、数十年にわたる「百人浜緑化事業」から「わくわく森林づくり」と続く町民をあげての森林再生事業、さらに近年注目を集める海の生態系における二酸化炭素の吸収、この「ブルーカーボン」において、昆布の二酸化炭素吸収能力が他の海藻よりも非常に高いことがわかってきた。

このように多くの資源を持つ当町こそ「ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、これをまちづくりの柱として様々な施策を行い、全国に向け発信することが、将来

答 町民生活課長

脱炭素社会の実現には、町民の理解と協力が不可欠であり、再生可能エネルギーやブルーカーボン、映画製作など、様々な要素を総合的に勘案し、まちづくりと絡めたゼロカーボンシティの宣言に向けて検討していきたい。



時化などで抜けた昆布は浅海底に数千年にわたって貯留され、大気中に二酸化炭素を再放出しないとされる

に向けた大きなメリツトにつながると思うが。

問

問 高松 議員

# 「結婚新生活支援事業」で 新婚者支援を

答

## 国の動向を踏まえ 検討していきたい

「結婚新生活支援事業」は、結婚に伴う経済的負担を減らすため引越し費用や新居の家賃・敷金・礼金等、もしくは新居の購入費用の一部を最大60万円、国と自治体が折半で補助する制度である。

ただし、結婚すれば誰でも対象となるわけではなく、夫婦の年間所得が400万円未満で、夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下での世帯に限られる。道内では令和4年4月時点で55の市町村、日高管内では浦河町のみであるが、隣の広尾町もこの制度を活用している。

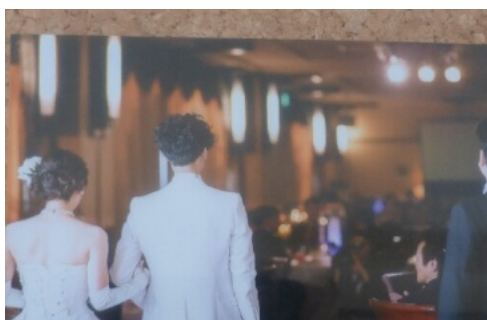
当町では一年間で14組ほど婚姻届を提出しているが、その何割かでも結婚するにあたっての経済的負担を軽減できるのであれば、まして近隣の町が活用していることを考えるとなおさら、当町でもそれほどの財政負担にはならず活用できると思うが。

答 町民生活課長

今年度から本事業を開始した近隣町に支給実績を確認したところ、

浦河町で1世帯、広尾町で2世帯あり、特に所得制限の壁が高いところが対象となる世帯が少ない要因と聞いている。

来年度に新設される「こども家庭庁」では、補助率の引き上げや対象世帯所得の要件の緩和等を盛り込んだ概要要求をしている。新婚世帯のスタートアップ支援という観点からも今後、国の動向を踏まえ、検討していきたい。



対象となった夫婦にとっては大きな支援となったはずだが

## えりも福祉会への補助金について

町は、えりも福祉会のショートステイ及びデイサービスの二事業に対して補助金を支出している。

ショートステイ事業の年間稼働率は、平成28年度は56.5%、翌29年度は33.5%まで落ち込み、30年度には61.1%まで回復したが、その後新型コロナウイルス感染症がまん延したことによる利用控えの影響によって令和元年度から徐々に減少し、令和3年度には37.6%まで落ち込んでいる。

また、デイサービス事業の年間稼働率も、28年度から30年度にかけて77%~80%の間で推移していたが、令和元年度からの2年間は50%台となり、令和3年度は36.5%となっている。

これも新型コロナウイルス感染症が原因の一つとして考えられるが、元年度から町内にデイサービス事業に類似した事業を行う事業所が開設した影響もあるという。

事業全体を考えたとき、稼働率は利用者が必要とする介護の状況で増減しやすい要素を抱えているのは理解できるが、収支改善が必要なのは明らかである。

介護保険制度の開始以来、本事業は重要な役割を果たしており、これらのサービスがなくなる事態は避けたい。しかし、本事業の収支を根本から見直す機会でもある。

ここ3年間は新型コロナウイルス感染症や他の民間介護施設の影響もあろうが、それ以前から赤字が常態化している部分もある。

町は、えりも福祉会がどのような収支改善計画を持っているのかよく確認し、稼働率改善のために行えることはないか、サービスの周知はできているのかなど総合的に勘案して、たとえ今後も補助するにしても、そのあり方をよく検討していただきたい。



「えりも福祉会」が運営している特別養護老人ホーム「やまと苑」。ショートステイ・デイサービス事業とも稼働率が落ち込んでいる

### (社会福祉法人) えりも福祉会 町補助 二事業に係る事業状況

金額単位：千円

#### ◎ 短期入所生活介護（ショートステイ 定員10名）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度（計画）
年間稼働率	56.5 %	33.5 %	61.1 %	53.3 %	50.0 %	37.6 %	50.0 %
収入合計	34,910	36,454	37,279	34,033	34,308	28,212	34,437
支出合計	34,910	36,454	37,279	38,162	38,154	37,296	39,471
収入・支出差引	0	0	0	▲ 4,129	▲ 3,846	▲ 9,084	▲ 5,034

累積分 ▲ 22,093千円

#### ◎ 通所介護（デイサービス 定員20名）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度（計画）
年間稼働率	80.1 %	79.3 %	77.0 %	58.9 %	53.0 %	36.5 %	50.0 %
収入合計	32,484	33,059	34,826	29,656	29,126	22,201	26,777
支出合計	32,484	33,059	34,826	35,486	35,060	34,940	32,222
収入・支出差引	0	0	0	▲ 5,830	▲ 5,934	▲ 12,739	▲ 5,445

累積分 ▲ 29,948千円

※平成30年度までは、赤字額を町が補助金で全額補填してきたため、収支は0円である。

令和元年度から定額補助に変更になったことに加え、コロナ禍や民間介護施設の開業の影響もあり、赤字額が膨らんでいる。

# 所管事務調査

総務文教常任委員会 委員長 成田一人  
 副委員長 笹谷廣喜 委員 橋本維応  
 神田 修 上野陽司  
 産業民生常任委員会 委員長 高松亮裕  
 副委員長 渡部 泰 委員 大坂庄吉  
 竹内孝文 中野公浩  
 議長 石川昭彦

調査日 令和4年10月18日(火)

## えりも中学校グラウンド改修について

えりも中学校グラウンドは、昭和55年度に整備されて以来、グラウンド自体を改修したことはなく、部分的に維持補修を行ってきた。しかし、全体的に凹凸が多くなり、陸上練習やサッカーの授業に支障が出ている状況であったことから、6月の定例会で予算計上し、7月から工事を行ったものである。

改良面積は11,000㎡、陸上用トラック走路と新設の走り幅跳び用のエリアを除いて張芝を行い、サッカーの授業も支障なく行えるようになっている。

工事費は9,350万円であるが、過疎対策事業債を活用し7割が地方交付税措置がされるため、町の負担は実質2,800万円程度ということであった。

調査時点では、まだ張芝を行っていたところで、この時期の工事であるため芝が根付くのか不安を感じたが、担当課によるとすでに半分は根付いている状況であると説明を受けた。

生徒たちにとって待ちわびた改修であり、来年の供用時に芝がはげていたり、雨水がたまっていたりしないよう管理を適切に行い、学校活動に支障がないように望むものである。



中学校グラウンド改修工事は、芝を根付かせるため散水しながら施工していた

## 基幹道えりも線の現状について

基幹道えりも線は、庶野と目黒を結ぶ総延長約19kmの林道で、黄金道路の通行が遮断された際には、迂回路としての利用もされている。

庶野側の林道入口から入って10kmほど進むと、半円状の緩い右カーブがあり、その路面に大きく「くの字」に亀裂が入り、谷側は沈下していた。沈下がさらに進むと大きな事故につながる危険性がある。

担当課もすでに道路状況は把握しており、来年度に維持補修を行う計画とのことであった。

さらに林道を目黒側に進むと、路肩流出により排水管ごと崩落している箇所があったが、応急処置は施しており、それ以上の浸食は免れていた。昨今の大雨が原因と思われるが、担当課によればこれも維持補修を行う計画であるという。

本林道は、黄金道路が通行止めの際には、迂回路としても重要であり、異常があれば迅速に修繕を行い、町民が安全に通れるように定期的な道路状況の確認を継続してほしい。



亀裂が生じた基幹道えりも線

# 全員協議会

※紙面の都合により抜粋して掲載

## 庶野小学校給食開始の予定について

### 給食開始は令和5年度中を予定

昨年3月の説明では、えりも小学校調理室で庶野小学校分の調理は可能だが、給食を入れるコンテナ等の保管に調理室の増築が必要であり、工事期間中は給食が休止となるため、今年度検討するということがあった。

その後、内部検討を重ねた結果、増築部分を変更することで、給食を休止せずに工事を実施できることとなった。

令和5年度予算に計上し議決されれば、1学期中に建設を開始し、夏休み中に完成させ、2学期中の給食開始を見込んでいる。



給食施設を増設予定のえりも小学校

#### 〈議員の意見〉

問：排水管の設置と駐車場スペースの確保は問題ないか。

答：排水管は建設前に処理する。駐車場は問題ない。

問：開始予定は2学期中とあるが何月頃か。

答：試運転をしながら10月頃の開始を予定。

## 物価高騰重点支援等に係る補正予算について

ウクライナ侵攻に端を発した世界的な原油高騰に対応するため、1次産業事業者と商工事業者に対し支援する。

#### —支援内容—

- ① 農業者に対する支援 20万円
- ② 林業事業者に対する支援 20万円
- ③ 漁業者に対する支援
  - ア: 昆布業者 5万円
  - イ: 沿岸漁業操業者 8万円
  - ウ: 沖合漁業操業者 20万円
  - ※アイウは、重複受給可能
- ④ 商工事業者に対する支援
  - ア: 小売業、卸売業、サービス業、食品以外の製造業 5万円
  - イ: 建設業、個人の食品製造業、飲食業 8万円
  - ウ: 食品製造業、宿泊業、運送業、医療業、社会福祉・介護事業 20万円
  - ※アイウは、重複受給可能



赤潮による水産資源の減少に加え、燃料費や資材の高騰は漁船操業にも大きな打撃となっている

#### 〈議員の意見〉

問: 商工業者に対して申請書を出しているが回収率は。漏れのないよう周知を徹底してほしい。

答: 回収率はまだ出ていない。未申請の事業者が多いため、再度周知をしたい。

問: 拾い昆布業者も対象になるのか。

答: 今回、拾い昆布業者は対象となる。



# 今年4月 統一地方選挙

今年4月、統一地方選挙がある。道内町村議会選挙では「無投票」の町村が増え、直近3回は約3割の町村が「無投票」で、2019年の選挙では定数割れも4町村あった。当町では無投票になったことはないが、今後もないとは断言できない。

## 拘束時間が長い

年4回の定例会のほか、臨時会、各種委員会、研修会、各種行事への参加、一般質問の原稿を考える時間など、拘束される時間が結構長い。

夜間議会や休日議会の開催で対応している町村もあるが、会社員が兼業で議員になるにはハードルが高い。

## 議員報酬が低い

かといって、会社を辞め議員だけで生活していくためには議員報酬が低すぎる。

全国平均の月21万6542円に対し、道内平均は18万1735円で、3万4807円下回る。

報酬を上げようにも財政事情や住民感情を踏まえて二の足を踏む議会も多い。さらに、4年ごとに選挙が

あり、落選すれば新たに職を探さなければならず身分保障がない。いずれにしても専業で町村議員になろうとするにはリスクがある。

こうしたことから、自ずと年齢や性別、職業など議員構成が硬直化してしまふ。

町村議員の全国平均年齢は64・4歳、当議会は前回選挙時点で59・8歳である。女性議員比率は道内11・2%、当議会は現在まで女性議員はいない。

# 議員のなり手がいない

## やりがいを感じない

議員がどういう活動をしているのかわからないという声も以前よく耳にした。当議会は2012年から「議会だより」を発行し、一般質問や所管事務調査など「議員活動の見える化」や、ここ3年はコロナ禍で実現できずにきたが「議会報告会 議員と語る会」を開催し、町民との対話の機会を増やしてきた。

幅広い世代や女性にも議員活動に対する理解を深めてもらう、議会を身近に感じ、魅力ややりがいを持つてもらおう、そういう機会を提供する方策として、議員カフェ、議会報モニター、議会モニター、政策サポーター制度などの導入も検討していかなければならないだろう。

議会を知ってもらう取り組みとして2010年から始まった「子ども議会」も忘れてはならない。小学生から高校生まで実際の議会定例会同様、自ら考えて一般質問をしたという経験は、一生の思い出として残してもらいたい。

10年後、子ども議会を経験した若者が、町議選に立候補する姿を見たものである。

## 議員の資質向上

議員一人一人がその資質向上に努めることは、町民の信頼を得る上で欠かせない要素の一つである。

議員研修、勉強会、講演等で研さんを積むことはもちろん、「一般質問をする」ために様々な資料を参考

にしながら、質問内容をより充実したものにしていく過程は、議員の資質向上を図る上で大変重要な学習の機会であり、提言が実現されれば何より町民のためにもなるのだから一石二鳥である。

そしてもう一つ、町民目線、当事者目線、素人目線と言ってもいいかもしれない。こういう目線で常に物事を考え、判断すること。

なぜかという、行政に違和感を感じるものがたびたびあるからである。特に強く感じるの、いじめに対する報道で学校や教育委員会の対応にである。

長く同じ職場にいると知らず知らずのうちに考えが一定の方向に向いてしまふ、狭まってしまふ、そんな気がしてならない。

行政に関する知識や情報では役場職員には適わない。議員の強みはそれぞれが経験してきた前述した町民目線・当事者目線に立つて物事を考えることができることであると思う。

このことを常に頭に置いて、社会の急速な変化に対応し、まちのために貢献するという役割を十分果たす、町民から信頼される存在になるため、4月の選挙に望んでいたが、新たに若者や女性の立候補者が現れることを期待するところである。

# この人に聞く

えりも町商工会 青年部長  
うえき のりよし  
植木 紀喜さん (35歳)



**Q 家業を継いだ動機は**  
A 小学生の頃から自転車  
で牛乳配達をしたり、夏休  
みや冬休みは、兄弟・従兄  
弟と工場でお菓子を作る手  
伝いをしてました。  
いつか自分でも一からお  
菓子を作ってみたいと思っ  
ていました。

**Q 青年部の活動は**  
A 町内の祭り出店、灯台  
公園の記念灯ペンキ塗り、  
これから未就学児への交通  
安全教室も行う予定です。  
20代前半で青年部に入り、  
年上の方ばかりで心配でし  
たが、みんな優しく楽しく  
頭の回転が早くて尊敬でき  
る先輩ばかりです。

様々な勉強会にも参加で  
きるので知識の少ない僕も  
たくさん学ばせてもらって  
います。他町の青年部とも  
交流が持て色々なつながり  
が出来て入部して良かった  
です。  
えりも町に対して協力、  
貢献して少しでも町を盛り  
上げていければと思います。

**Q 町に対する役割、思い**  
A 今年、町内で映画  
「北の流水」(仮題)の撮影  
が行われるということであ  
しみにしています。  
最後に、僕は商工青年部

と消防団に所属しています  
が、漁協青年部などの団  
体も人手不足が深刻とい  
話をよく聞きます。  
団体に所属するのは面倒  
と思う方もいると思います  
が、自分の家族を守るため  
町を盛り上げるために少し  
でも協力したいと思つた方  
は、各団体に所属して活動  
に参加してもらえればと思  
います。

植木商店の後継者でもあ  
る植木紀喜さん。  
年末年始の忙しい中、対  
応ありがとうございます。  
(取材・橋本)



3年ぶりの出店となった昨  
年の「海と山の幸フェスティ  
バル」



お菓子作りの作業風景。  
おすすめは、べこ餅・  
本練羊かん・食パン

笹谷 廣喜 議員

去る令和4年11月18日に笹谷  
廣喜議員がお亡くなりになりま  
した。

笹谷議員は、誠実な人柄と優  
れた識見が町民皆様の大きな信  
頼となり平成23年4月の初当選  
以来3期11年6か月にわたり、  
ご活躍されました。

その間、総務文教委員会副委  
員長、日高東部衛生組合議会議  
員をはじめ、平成28年には、予  
算特別委員会委員長、令和3年  
に決算特別委員長、令和元年か  
らは監査委員を務められました。

謹んでご冥福をお祈りいたし  
ます。

## 編集後記

令和4年は、あつという  
間に終わり令和5年がはじ  
まりました。昨年は、コロ  
ナ禍、赤潮漁業被害、ウク  
ライナ侵攻による物価高騰  
など、気の抜けない年でし  
たが、今年はまちの経済回  
復を期待するところです。

今号の「議会だより」で  
は、地球温暖化対策として、  
脱炭素社会、カーボンニュ  
ートラルの推奨が、一般質問  
でも取り上げられました。

昆布は、杉の約4・5倍  
の二酸化炭素吸収効果があ  
るといわれており、「ブルー  
カーボン」と呼ばれていま  
す。その効果も期待し資源  
を生かしながら、脱炭素社  
会の実現を目指していけれ  
ばと思います。

(橋本)

**広報広聴常任  
委員会委員**

委員長	橋本 維広
副委員長	高松 亮裕
委員	竹内 孝文
	神田 修
	上野 陽司